



⊙
「やさしい心が一番大切だよ。
だから、その心を持っていない
あの子の方が可哀相なんだよ。」
この言葉に応え、両親は真実を求める
険しい道を歩み始めました。
NPOジェントルハートプロジェクト提供



記念シンポジウム & 講演会

※講演会、シンポジウムの参加費：入館料のみ

1 シンポジウム

「子ども・若者の声を社会へ～いじめを体験して」

シンポジスト いじめを体験した若者(数人)
迫川 緑(関西テレビ報道部記者)

コーディネーター 桜井智恵子(大阪大谷大学教授・
元川西市子どもの人権オンプerspersion)

日時：10月5日(土) 14時～17時
会場：リバティホール(大阪人権博物館内)(当日先着順)

2 講演「いじめ問題の過去・現在・未来」

講師 住友剛(京都精華大学准教授・
元川西市子どもの人権オンプerspersion調査相談専門員)

日時：10月12日(土) 14時～16時
会場：ガイダンスルーム(当日先着順)

3 講演「いじめって何ですか？」

講師 小森美登里
(NPOジェントルハートプロジェクト理事)

日時：10月19日(土) 14時～16時
会場：リバティホール(大阪人権博物館内)
(当日先着順)

4 講演「いじめと差別」

講師 成山治彦
(大阪人権博物館理事長・大阪教育大学理事)

日時：11月9日(土) 14時～16時
会場：リバティホール(大阪人権博物館内)
(当日先着順)

◆学芸員のおススメコレクション◆

大阪歴史博物館 ちしんほうぼうゆり状の事

幕末の安政江戸地震の後、鯨と地震をテーマにした鯨絵(なまずえ)という刷り物が大量に出版されました。本品は、奉公人請状(うけじょう)という雇用契約書の形式をかりて作られています。これから雇われようとする「ゆり助」という名の鯨の身元を、「ぶるぶるやこわ右衛門」らが、「大坂町屋敷大つなみ打寄場」に住む「橋々屋おち右衛門」という雇い主に保証するという趣向になっています。大阪は、江戸地震の前年におきた安政南海地震の津波によって多数の溺死者や落橋など大きな被害を受けました。ユーモラスなネーミングの背景には、このような地震被害の実態があったのです。(大阪歴史博物館学芸員 飯田 直樹)

※本品は、大阪歴史博物館8階にて開催中の特集展示「関東大震災90年記念 近現代大阪の地震」に出品されています。<9/23(月・祝)まで>

大阪歴史博物館 **所在地** 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728 **FAX** 06-6946-2662 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」2号・9号出口、
または大阪市営バス「馬場町」バス停前 **ホームページ** <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>



ちしんほうぼうゆり状の事 安政2年(1855)
大阪歴史博物館蔵

